

横浜市立神奈川中学校 平成 29 年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標	
○全職員で、「全員を仲間と認める」「仲間と協力する」「仲間を大切にする」ことを基本として、誰もが安心して生活や学習ができる学校づくりを目指します。	
・授業では言語活動を取り入れ、思考・判断・表現力の育成を通して、確かな学力を身に付けられるようにします。	
・人とのコミュニケーションを通して、他者を尊重する態度と、自己肯定感や自己有用感を育てます。	
・様々な活動を通して自治能力を高め、自分を生かす力を育てます。	

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる	① 「体づくり」の分野で効果的な指導ができるよう、研究や研修を行い、保健体育科の授業改善を図る。 ② 体力テストや独自指標等の結果をもとにした、 体力向上1校1実践運動の改善 を図る。 ③ 体力テストの結果等を振り返り、自己の体力に興味をもたせる。体力の向上、生活習慣の改善を図るための時間を設ける。
担当	体育科	

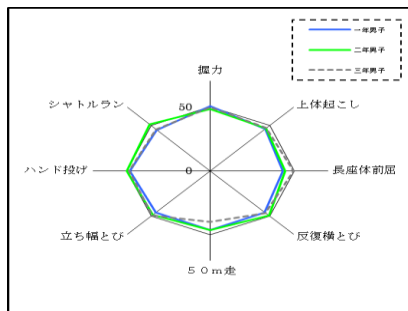
2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

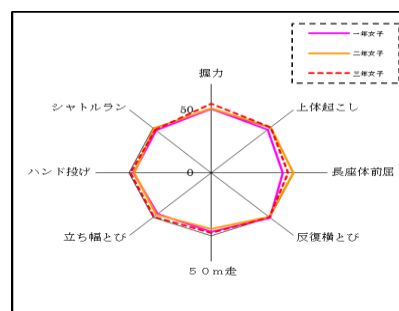
- ・保健体育の授業では、多くの生徒が意欲的に授業に取り組んでいるが、なかには単元によって授業への取り組み方が安定しない生徒もいる。
- ・昼休みは、サッカーやバレーボールなどで遊ぶ生徒の姿も見られるが、外遊びをする生徒はまだ少ない。
- ・体育祭での大縄跳びで、クラスの仲間と声を掛け合いながら体を動かすことができる。

(2) 体力の概要と要因の分析

平成29年度男子全体



女子全体



新体力テストの結果から、全体的に男子・女子ともに平均値と変わらないが、男女ともに50m走の種目に関しては、3学年ともに平均値に届いていない。幼いころから走る機会が少ないことが要因として考えられる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《保健体育科での取組》

- ・保健体育科では、生徒が自ら課題を発見し課題を解決することにより、運動技能を高めるとともに、運動の楽しさや喜びを味わえるよう、「生徒が主体となる学習活動」を重視します。

《他教科での取組》

- ・家庭科では、食教育との関連を図り、生徒が自ら健康保持、増進に取り組めるようにします。

道徳・特活・総合

- ・体育祭では、保健体育科で培った資質能力をさらに発揮させるとともに、集団の中で互いに協力する心を育てます。
- ・保健委員会では、生徒の健康面での課題を把握し、よりよい生活をするための改善策や生活習慣について周知に努めます。
- ・安全指導では、自ら危険を回避し、安全を確保することができるよう、さまざまな訓練等の機会を設けます。

課外活動

- ・運動部活動の推進。（地域外部指導者の積極的活用）
- ・小学校との部活動交流。
- ・自治委員による昼休みのボール貸し出しと生徒への外遊びの推進
- ・保健委員会を中心とした、学校保健委員会による、健康の保持増進に関する取り組みの推進。

平成29年度 神奈川中学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 運動の楽しさを知り、健やかな体を育てよう

《ねらい》 運動の機会の確保

《内容》 休み時間での運動を呼び掛け、体育的行事を推進し、教員・生徒が連携して企画、運営し運動の楽しさを味わわせる。

- 指標：
- ①新体力テスト後の振り返り
 - ②昼休みボール貸出しの状況